放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表日：令和 5年 2月20日

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1		8	法令で定める適切な基準は満たしています。運動療育と学習のスペースを分け、室内は児童がわかりやすく、過ごしやすい環境にしています。	
	2		8	国の定める配置基準以上に有資格者で満たしています。	
	3		8	児童に分かりやすい環境に配慮しています。玄関前には2段階ほどの階段があり、バリアフリーではありませんが階段などには付きそい、安全面に配慮しています。	テナントの為、バリアフリーにすることは難しいですが、支援が必要な児童については手を繋ぐなど、安全面に配慮しています。
業務改善	4		8	その日勤務の職員が揃う時間に業務連絡、療育内容の確認など話し合いの場を設けております。また、月2回のリフレクション会議を実施し支援の改善点、療育の計画などすべての職員が情報を共有できるように図っております。	
	5		8	年に一度のアンケートを実施し、評価を元に保護者様のご意見を職員同士で情報共有し、業務改善に繋げています。	
	6		8	COMPASS 発達支援センター公式Web サイトにて公開しております。	今後も公式Webサイトで公開してまいります。
	7		8	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	8		8	年間計画に沿った定期的な研修を実施し、職員の資質向上の機会を確保しております。	現在はコロナウイルスの関係で研修機会が制限されていますが、事業所内では話し合いをする場を設けています。
適切な支援の提供	9		8	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	
	10		8	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	
	11		8	活動プログラムの立案をチームで行っている	
	12		8	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	
	13		8	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	今後は児童の要望も取り入れ平日、休日、長期休暇それぞれに課題を設定し、各児童に合った取り組み内容を設定しています。
	14		8	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	
	15		8	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	
	16		8	支援終了後は、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	
	17		8	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	
	18		8	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	必要に応じて、期間を問わずモニタリングを行い、計画の見直しを行います。
関係機関や保護者との連携	20		8	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	
	21		8	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	保護者様や学校と送迎時等の機会に児童の状態や変化などについて情報共有と意見交換に努めています。送迎時間の変更や学校行事や大事な連絡事項なども保護者様や学校からいただくように連携しています。
	22		8	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	23		8	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	
	24		8	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	今後、該当児童がいた場合、関係機関などへは支援内容や活動状況などの情報を提供し、卒業後の移行先でのサービス提供に役立てていきたいと思っています。
	25		8	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	
	26		8	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	今年度もコロナ禍のため交流機会を企画できておりません。
	27		8	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	コロナ禍で、協議会への参加機会はありませんでした。
	28		8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	送迎時等に保護者様とお話し、その日の様子を必ず伝え、共通理解を持てるようにしています。また、保護者様と積極的な意見交換を行いより良い支援へ繋がっていきます。
	29		8	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	保護者様と現在の状況と一緒に把握し、色々な支援方法を考え、適切なアドバイスができるように心がけています。
保護者への説明責任等	30		8	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	契約時には丁寧な説明をするように心がけています。
	31		8	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	児童の状況や内容を十分把握して色々な視点からアドバイスや助言ができるように心掛けています。保護者様のお気持ちに寄り添うよう助言を行い、職員間で話し合った内容を確認し良い支援ができるように心がけています。
	32		8	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	本年度もコロナ禍の為父母の会を開催する機会を持つことはできませんでした。
	33		8	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	相談や申し入れがあった場合、迅速に対応するようにしています。苦情窓口と責任者の配置も行っています。
	34		8	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	行事予定や活動概要は連絡帳やカレンダーに載せています。季節ごとに「COMPASSだより」を発行し、公式Webサイトのブログでは事業所の活動内容や児童の成長をご紹介します。
	35		8	個人情報に十分注意している	事業所内の個人情報には鍵付きの書庫に保管しています。写真掲載など、個人情報に関わる場合には保護者様の同意を得ています。
	36		8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	児童の特性に合わせて情報伝達や意思疎通の配慮を行っています。
	37		8	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	本年度もコロナ禍のため、地域住民をご招待する機会を持つことができませんでした。
非常時等の対応	38		8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	事業所内にマニュアルや対策を提示し保護者にもお伝えしています。また、カレンダーにも記載をし保護者様にもより分かりやすくしています。
	39		8	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	年度初めに年間計画を立て、定期的に児童も参加して避難訓練を行っています。
	40		8	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	最低年一回は虐待の研修を行い、事業所内で虐待責任者を選定しています。
	41		8	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行う場合に、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	利用契約時には、身体拘束の禁止が記載されており生命又は身体を保護するためにやむを得ず身体拘束を行う場合には、あらかじめ文章により保護者様の同意を得ることにしています。
	42		8	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	食物アレルギーについては、契約時、保護者様から十分にヒアリングを行い、全職員で周知徹底に努めています。
	43		8	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	ヒヤリハット報告書を作成し、事例はファイルで共有し、ヒヤリハット報告書を作成した時は全職員が押印をして内容確認して再発防止に繋がっています。

〇この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。